

議会だより

福祉交流館「きやまんふれあいセンター」
4月7日オープニングイベントが行われた

平成26年4月30日発行

平成26年 第1回定例会

3月議会

平成26年度 施政運営方針	2
予算特別委員会	3
常任委員会報告（総務文教、厚生産業）	5
議案審議	6
補正予算	7
賛否表	8
一般質問	10
一部事務組合報告	16
意見書、議長交際費、6月議会会期日程(案)	17
議会報告会、編集後記	18

きやま

検索



平成26年度 施政運営方針

「平成26年度基山町施政運営方針について」
小森町長が発言した内容を抜粋。

当

町の平成26年度の町政運営の基本は、住民が主役であり、「協働」によって一人ひとりが納得できる、まちづくりを目指す。その理念のもと、第5次総合計画策定、図書館建設、福祉交流館設置や道路改良、公園整備など、人づくりと持続可能な住みやすいまちづくりを進める。

平

成27年度に開催予定の「水城・大野城・基肄城築造1350年事業」第5回古代山城サミット基山大会」の準備のほか、施設・設備の長寿命化の計画を考えないといけない。身の丈にあった財政運営が必要。

人

人口減少問題は大きな課題であり、工夫、努力が必要。開発、発展、経済ばかりでなく自然、環境も大事にし、活力とバランスのとれた住みやすさが実感できる町を目指す。地に足をつけて幸せが実感できる将来のことを考えていきたい。

施政運営方針に対する主な質疑

人

人口減少問題

人口増対策としての展望がない。高齢化のすすむ町が若い人にとって魅力があるのか。

答

今後10年間で人口増を考える機会になると思う。市街化区域内の残存農地で住宅政策が可能な土地に的を絞って取り組んでいく。

総

合計画基本構想案

横文字の表現が多く、注釈もないので町民の理解が得られにくい。今後どのように町民の声を拾っていくのか。

答

注釈は必要だと感じている。また、今後は地域担当職員が地域の課題や目標を聞くために、区運営委員会等に参加する体制をとる。

基

山(きざん)公園施設改修工事

基肄城築造1350年事業を見据えた改修であり、国や県にも働きかけるべき。また、改修工事の内訳はなにか。

問

答

基本整備計画の見直しに時間を要するため、まずは町単費でトイレの洋式化と展望台の階段や手すりの改修を行う。

鳥

栖基山都市計画区域市街化区域 設定業務委託料

今回の市街化区域設定業務は、鳥栖市旭地区の拡大であり、基山町は調査のみではないのか。また、長野地区の産業用地拡大はできないのか。

答

県には町全体の話も行うが、当面長野地区の産業用プレームの市街化区域拡大を考えている。

基

金(町の貯金)の積み立て状況

財政調整基金や公共施設整備基金の積立額が大きく減額となり、余裕がなくなった。一般会計へ繰入も厳しく、今後どうしていくのか。当初予算も設計料がほとんどであり、大きな負担となる工事請負費が心配である。

答

年々苦しくなってきたのは事実。負債は極力抑え、自主財源で対応する方針を決めた。今年度は図書館建設も控えているため公共施設整備基金は残り、財政調整基金の繰入で対応する。

小・中学校へ電子黒板10台購入予定

平成26年度当初予算審議 予算特別委員会

施政運営方針・新規事業説明書・議案及び資料に基づき5日間にわたって審議を行った。

電子黒板購入は

問 電子黒板10台を各学校へ、どのように配置するのか。

答 基山小4台、若基小3台、基山中3台である。

問 平成27年度までに佐賀県がICT事業として全普通教室に電子黒板整備を打ち出しているが、基山町は来年度以降の設置をどうするのか。

答 補助金を基金に積立て、計画を立てる。

福祉交流館事業の管理運営は

問 管理委託の内容は。

答 平日の執務時間は社会福祉協議会が行い、それ以後と土・日祝日は警備会社等に委託する。2階受付には1人常駐する。

問 駐車場北側の土地の体験農園利用は。

答 社会福祉協議会に管理を委託し、ボランティアやJAの指導員と協議する計画である。

割田団地外壁改修工事どう進める

問 外壁改修工事の工程は。

答 今年度で実施設計（3棟）を行い、平成27年3月までの工期予定である。

問 この工事ですでにどれくらい耐久性があるのか。

答 この工事により今後10年間は使用することが条件である。

コミュニティバス運行は

問 今後の運行スケジュールは。

答 Aルート（けやき台幹線）とBルート（園部線・宮浦線・本桜線・長野線）でバス2台を走らせる予定である。4月から6月の試運転期間中に利用状況をふまえ運行改善をする。

総合公園の整備状況は

問 測量設計委託料の内容は。

答 総合体育館からの避難経路も含めた南側駐車場を整備するためである。

問 施設工事の進捗状況は。

答 平成26年度で駐車場の整備は完了する。

どう進める本桜・城の上線道路改良工事

問 工事請負費6,950万円について、道路改良工事における当初説明の額が倍近くになっているが、今後付帯工事はあるのか。

答 盛土工事がほとんどなので、これ以上増えることはないという認識である。

下水道全体計画の見直しを含めて

問 一般会計繰入金1億5,226万円について、今後の一般会計からの繰入はどうなるのか。

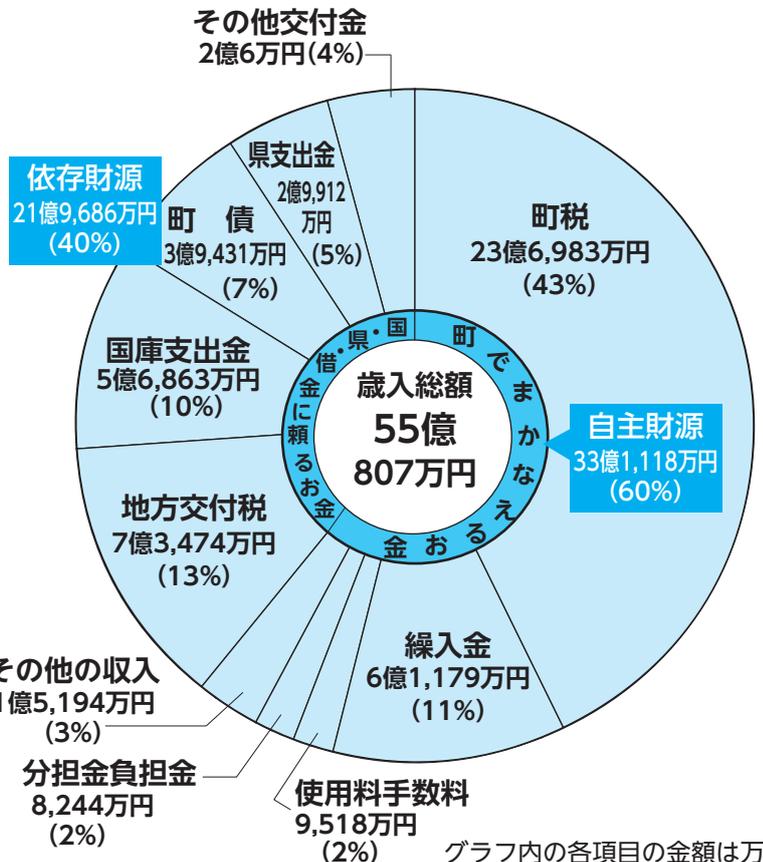
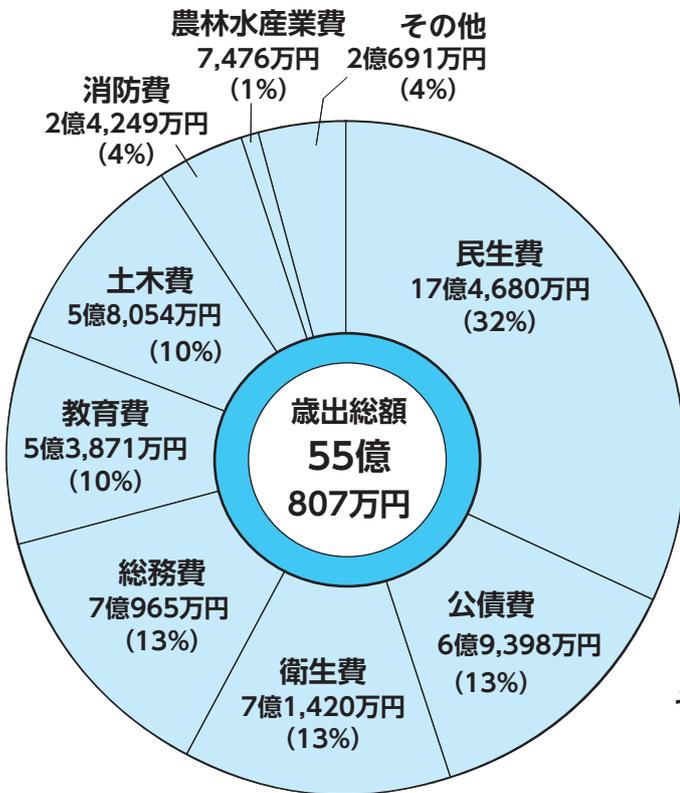
答 平成27年度から公営企業会計に移行するが、従前通り継続する。

各会計当初予算規模

区 分		平成26年度	平成25年度	平成24年度
一般会計		55億 807万円	54億 214万円	51億8,337万円
特別会計	国民健康保険	22億1,396万円	22億 275万円	21億 675万円
	後期高齢者医療	1億9,913万円	1億8,973万円	1億8,371万円
	下水道	3億5,196万円	3億5,606万円	3億9,529万円

平成26年度当初予算

一般会計 55億807万円 (昨年度に比べ 1億593万円増)



グラフ内の各項目の金額は万円未満を切り捨てをしていますので合計と総額は一致しません。

●町民一人あたりの予算 (一般会計)

<p>町民一人あたりの予算</p> <p>312,355円</p>	<p>民生費</p> <p>99,059円</p> <p>児童、高齢者、障がい者の福祉の推進など</p>	<p>公債費</p> <p>39,355円</p> <p>これまでの施設整備などで借りたお金の返済</p>	<p>衛生費</p> <p>40,501円</p> <p>ゴミ、し尿の処理や健康増進事業など</p>	<p>総務費</p> <p>40,243円</p> <p>総務管理、財産管理、地域振興、税務事務など</p>
<p>教育費</p> <p>30,550円</p> <p>学校の管理運営や施設整備、生涯学習の推進など</p>	<p>土木費</p> <p>32,922円</p> <p>道路、公園、公営住宅の整備など</p>	<p>消防費</p> <p>13,751円</p> <p>消防活動や救急業務など</p>	<p>農林水産業費</p> <p>4,240円</p> <p>農業、林業、畜産業などの振興</p>	<p>その他</p> <p>11,734円</p> <p>商業、観光の振興および議会運営、災害復旧など</p>

小・中学校に電子黒板設置増

総務文教常任委員会

町は、佐賀県が勧めるICT利活用教育推進事業費で平成26・27年に、小・中学校の各教室に電子黒板を設置する予定である。

また、タブレット型パソコンを中学校の学年毎に40台ずつ、各小学校のパソコン教室に40台を平成32年度までに整備する計画。

委員会審査の中で、児童・生徒へICT教育を活用してレベルの高い授業を行うかなど、総合的な教育計画を策定するよう要望した。

ふるさと応援寄附基金でピアノ購入

町は、ふるさと応援寄附基金を活用して、基山中学校のピアノを183万円で購入換えることにした。基金残額は676万円となっている。

補導員会設置条例を単独条例に

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の第4次見直し改正が行われている。町も関係条例であ

る青少年問題協議会と社会教育委員の条例を制定した。

青少年問題協議会は、その設置目的、開催時期、委員については15名以内で構成、町の青少年問題施策について協議を行う。また、社会教育委員は町の社会教育事業について協議する。審査では、委員構成が幅広い町民の意見が出るよう努力することを担当課に求めた。

そして、補導員会設置について、活動状況を考慮し、単独での設置条例制定を検討するよう求めた。

消防車の購入

国の交付金で消防自動車の買い換えを行う。5月に入札を行い、ポンプ車、積載車9台を購入予定である。



▲10区で行われた春季消防訓練

神の浦ため池埋立てすすむ

厚生産業常任委員会

町道「本桜・城の上線」改良工事は、平成26年度に神の浦ため池を盛り土によって埋立てる。その後、自然沈下が収まってから道路改良工事を行い、平成28年度の竣工予定になっている。全体の事業費2億5950万円に変更はない。

当委員会として神の浦ため池の利用については、地元の意見も参考にしながら有効活用するように要望した。

福祉交流館に放課後児童クラブを新たに開設

基山小学校区の放課後児童クラブ利用者が定員（120名）を超えるので、

福祉交流館1階に放課後児童クラブひまわり教室Cクラスを新たに開設する。

利用児童数が増加した場合（140名以上）は福祉交流館1階の大会議室を利用できるように協議をしている。

当委員会としては、放課後児童クラブのニーズは高まっているので、利用児童の増加による教室の不足に対応するため、小・中学校の空き教室の利用や、若基小学校のコスモス教室の相互利用なども検討するよう要望した。

また、指導員の待遇改善については業務内容や、開設時間帯などを考慮するよう要望した。



▲工事着工前の「神の浦ため池」



▲平成28年度に町道竣工予定

新副町長 松田一也氏に決まる

平成26年 第1回定例会

議案審議

松田一也副町長の選任

問 何を新副町長に期待しているか。

答 中心市街地の活性化、人口減少対策に取り組んで頂きたい。

基山町青少年問題協議会設置条例の制定

問 条例改正の主な理由は何か。

答 国の地方分権義務等の見直しによる改革推進で、今ある条例を全部改正する必要がある。

問 協議会の主な業務内容は何か。

答 青少年の指導育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき、調査審議、連絡調整を図る。

問 第5条に補導員の規定があるが、この条例とは別に補導員設置条例が必要ではないか。

答 設置要綱を作成したい。

基山町社会教育委員条例の制定

問 今回の全部改正で社会教育法に基づき何が改正されるのか。

答 国の基準を参酌し、委員の要件と定数および任期に関する条例を改正する。学校教育・社会教育の関係者・家庭教育活動者・学識経験者から10人を委嘱する。任期は2年である。

基山町放課後児童クラブ条例の一部改正

問 平成26年度のひまわり教室の入所希望者は何人か。

答 申し込みは158人で、定員の120人を上回るため、C教室を福祉交流館に開設する。

問 限定された勤務時間のため指導員のなり手がないと聞いている。賃金単価の見直し等勤務条件の改善は考えていないか。

答 指導員には資格要件がないので現状のままだが、今後研究したい。

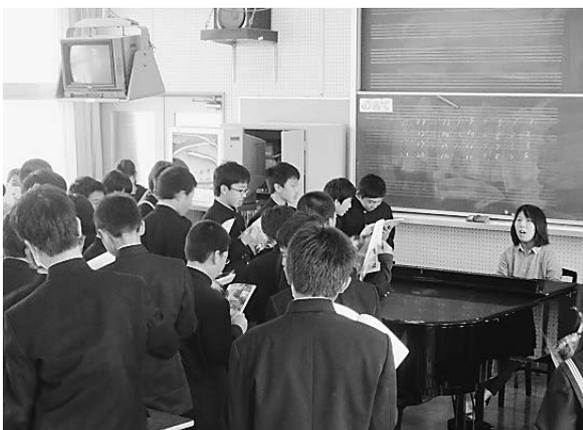
一般会計補正予算 ふるさと応援寄附金

問 何件の寄附があったか。

答 3件である。これまでの基金で基山中学校にランドピアノを購入予定である。

問 今後何に使用するのか。

答 よく検討して使用する。



▲購入予定の中学校のランドピアノ

消防団ポンプ車の更新決まる

消防用自動車更新事業 1億98万円

国の防災・減災事業費（平成25年度事業が平成28年度まで延長）で予算計上され、消防団機能強化のため20年経過年度で消防団の消防自動車等を更新するもの。

一般会計補正予算

1,978万円を追加 予算総額 58億9,522万円

一般会計歳出の主な補正内容

- ・教育施設整備基金費 1,000万円
ICT利活用基金積立金 電子黒板10台分
- ・JR基山駅通路の照明修理 101万円
駅前の通路を明るくするため
- ・各種予防接種委託料 △1,095万円
子どもインフルエンザ、子宮頸がん、妊娠安心風しん受診者減のため
- ・広域ごみ処理施設運営費負担金 △1,124万円
ごみの量が予定より少なかったため

繰越明許費

事業名	金額
たんぼぼ保育園増改築事業	1億7,036万円
子ども・子育て支援制度に伴うシステム構築事業	939万円
開田・小林線道路改良工事	3,486万円
急傾斜地崩壊防止事業（小松地区）	2,475万円
消防用自動車更新事業	1億 98万円

繰越明許費とは

その年の予算は年度中に執行するという会計年度独立の原則の例外として、その時の歳出予算の一部を次年度以降に繰り越すこと。

国民健康保険 特別会計 補正予算

8,497万円を減額 (第5号)

予算総額 22億2,325万円

下水道 特別会計 補正予算

877万円を減額 (第5号)

予算総額 3億5,035万円

後期高齢者医療 特別会計 補正予算

168万円を減額 (第2号)

予算総額 1億9,690万円

ひまわり教室Cクラス 福祉

平成26年 第1回定例会 (3月3日～3月18日)

区分	議案	内容	結果
第1号議案	基山町青少年問題協議会設置条例の制定について	地方青少年問題協議会の会長と委員の要件に係る規定が廃止されることに伴い、円滑な組織運営上必要である要件を条例で定めるとともに、所要の規定の整備を行う。	原案可決
第2号議案	基山町社会教育委員条例の制定について	社会教育委員の要件に係る規定が廃止され、条例で定めることとされることに伴い、所要の規定の整備を行う。	原案可決
第3号議案	基山町放課後児童クラブ条例の一部改正について	ひまわり教室の平成26年度の利用申込件数が定員を上回る状況となっているため、基山町福祉交流館の一部を活用することにより待機児童を解消し、子育て支援をさらに推進するため、所要の規定の整備を行う。	原案可決
第4号議案	三神地区環境事務組合規約の変更に係る協議について	議会の議長及び副議長並びに組合長、副組合長、会計管理者及び監査委員の選任方法を変更することに伴う組合規約の変更を行う際には、関係地方公共団体の議会の議決を経る必要がある。	原案可決
第5号議案	平成25年度基山町一般会計補正予算(第5号)	従前の予算に1,978万円追加して、総額を58億9,522万円にする。	原案可決
第6号議案	平成25年度基山町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	従前の予算に8,497万円減額して、総額を22億2,325万円にする。	原案可決
第7号議案	平成25年度基山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	従前の予算に168万円減額して、総額を1億9,690万円にする。	原案可決
第8号議案	平成25年度基山町下水道特別会計補正予算(第5号)	従前の予算に877万円減額して、総額を3億5,035万円にする。	原案可決
第9号議案	平成26年度基山町一般会計予算	歳入歳出予算総額を55億807万円にする。	原案可決
第10号議案	平成26年度基山町国民健康保険特別会計予算	歳入歳出予算総額を22億1,396万円にする。	原案可決
第11号議案	平成26年度基山町後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出予算総額を1億9,913万円にする。	原案可決
第12号議案	平成26年度基山町下水道特別会計予算	歳入歳出予算総額を3億5,196万円にする。	原案可決
第13号議案	基山町副町長の選任について	田代正好氏の退任に伴い、松田一也氏を基山町副町長に選任する。	原案同意

10人が町政を問う

一般質問

(傍聴者 延べ79人)

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。基山町の場合は、時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「一問一答方式」を採用しています。

本議会の様子はYouTube(ユーチューブ)で試験的に配信しています。視聴方法等は町議会ホームページをご覧ください。



町議会ホームページ

<http://www.town.kiyama.lg.jp/site/gikai/>

問 今後10年間の課題は 答 人口増を図る施策展開



品川 義則 議員

問 副町長が就任2年間で感じた今後の課題は何か。

答 福岡市にも近く、利便性が高い優位な地域である。やがてくる人口減少の時代を見据えたまちづくりが重要だ。

問 新副町長にはどのような施策の推進を望むか。

答 これまでのやり方が少し内向きだったので、これから先10年が人口を増やし、町の活性化をする勝負の時だ。対外的に基山の良さを情報発信するプロモーションをやって貰いたいと考えている。

問 副市長・副町長レベルの「将来のあり方検討委員会」に臨む時、合併

について副町長とのコミュニケーションはどの取るのか。

答 慎重に進めるべきだと考えるので、新副町長ともしっかりと議論して行く。

要望 町民が合併について議論できるように情報を提供し、町民全てが意見を述べる機会をもつ時期だ。

役場窓口を民間委託に

問 近隣市町で民間委託しているのはどこか。

答 総務省が委託できる業務の範囲を拡大している。大野城市、久留米市、太宰府市などが窓口業務を委託している。

問 自治体のサービスの効率化が求められている。限られた職員で多様な住民のニーズに答えるには、非基幹的業務は民間に委託するべきではないか。

答 窓口業務、図書館、保育園運営は民間がよいのかどうかは分かりかねている。住民の意見を聞きながら検討をしていく。

問 多様化する防災と地域防災体制整備のための機能別消防団員、機能別分団の検討はしているか。

答 現在団員確保が困難な状況で、団員の町外勤務による日中の火災出動人員が少ない地域がある。地域防災体制充実のために機能別消防団員制度について消防委員会等で検討している。

問 消防ポンプ車、積載車の更新計画があるが、装備の充実はどうするか。

答 団員の安全確保のための装備「防塵メガネ」や「耐切創性手袋」の配布。発信機能強化の「トランシーバー」、災害対応の「油圧ジャッキ」の救助活動資機材を装備する。

問 人口減少の対策を示せ

答 残存農地の住宅開発を検討



木村 照夫 議員

問 住宅土地開発は民間業者と取り組んだのか。

答 取り組んでいない。

問 基山町の過去最大人口数と平成25年3月末の人口数は。

答 平成11年が最大で19,153人である。平成25年3月末は17,561人である。

問 町外より基山町へ住民を呼び込む対策は。

答 子育て支援策として、保育料の軽減化、放課後児童クラブの対象学年の拡大、保育時間の延長を行った。また、中学生までの通院・入院の医療費及び調剤費の助成や、子どもインフルエンザ予防接種、不妊治療補助等も行っている。その他、基山町のPRパンフレット「基山町の魅力ガイド」を配布している。

土砂災害警戒区域の災害防止について

問 第2区の土砂災害警戒区域は何箇所指定されたのか。

答 佐賀県の指定については、土砂災害警戒区域イエローゾーンの区域指定は70箇所とレッドゾーンが68箇所となる予定。

問 災害防止策(ハード)対策は。

答 県、町において砂防堰堤等の土砂災害防止に対する整備計画は策定されないが、発生するような場所については県と連携し、防止策を図っていく。



▲町内の整地された残存農地

問 合併問題を堂々と協議を

答 やり方を変えれば話し合う



後藤 信八 議員

答 周辺部になるとの認識が必要だ。

問 合併に関する情報を広報で2回出したが、町民が求めた情報なのか。

答 町民の理解が十分とは考えていない。

問 広報では、合併のマイナス面を強調しており、情報として公正なのか。

答 公正な情報を心掛けたつもりである。

問 平成大合併を町としてどう評価しているか。

答 国主導の財政合理化のための合併であり、周辺部は疲弊との話もある。

問 合併評価の資料は、超広域合併が中心で、基山町の参考になるのか。

答 確かに合併のケースは様々で、一概に評価はできない面もある。

問 基山町に置き換えた場合どうなるか。

答 今後はおかしい。

でも25%。職員体制やサービスなど相当な覚悟が必要であるが、基山町は単独で生き残れるのか。

答 高齢化、人口減、財政等の不安はあるが、合併で解決できるとは言い切れない。

問 合併問題を東部各市町と堂々と協議、検証を

問 鳥栖市より提案された「合併検討委員会」の対応など逃げ腰ではないか。基山の立場を主張し、だめなら合併しなければよい。堂々と協議して町民に課題を明らかにすべき。

答 あまりにも拙速すぎる進め方には乗れないと言っている。やり方を変えれば話し合いは必要と考える。



▲「合併検討委員会」を提案した鳥栖市

問 白坂久保田2号線改良予定は 答 現地測量後まず設計図を



牧園 綾子 議員

る三国丸林線の改良等について、関係機関との協議をどう進めていくか。

問 計画実施に向けての今後のスケジュールは。

答 平成26年については、当初予算で測量試験費等を挙げっており、現地測量後、概略の設計図ができた時点で、けやき台住民の方及び地権者に説明会を行う。

問 土取りした跡地の有効活用について、工事の影響部分の掘削を行うので公園は残るとあるが、広さを含め具体的な案は考えているか。

問 土取りした跡地の有効活用について、工事の影響部分の掘削を行うので公園は残るとあるが、広さを含め具体的な案は考えているか。

答 残地の広さは、測量後に道路計画を入れてみないとわからないので、現在のところ具体的な案は決めていない。

問 国道3号線へつなが



▲これより先改良予定道路

子どもの食物アレルギー対策について

問 基山保育園で食物アレルギー対応を要する園児は何人いるのか。

答 現在は、8名の園児にアレルギー対応給食を提供している。

問 アレルギーマスクの予防対策や症状が出た時の対応など保護者との連携はどのようにしているのか。

答 新入園児の面接の際にアレルギーに関する聞き取り調査を行う。食物アレルギーがある園児については、医師の証明書及び指示書を提出してもらい、給食についての対応を協議し、その内容を保護者に伝えている。

問 学校給食で通常の献立や食材を変えて調理している割合は。

答 一日約1500食を調理し、アレルギー対応として除去食を一日平均5、6食調理している。割合は、0・4%程度。

問 中・長期の財政計画を策定すべきでは 答 実績との乖離が大きくなれば策定したい



重松 一徳 議員

債（借金）返済計画は。

答 借りた年度から30年間の返済計画になる。平成30年から41年までが最大で年間1億4417万円返済になる。

問 下水道事業の全体計画見直しによる財政効果の見積もりは。

答 全体事業計画は22

6億7700万円だが、全体計画見直しで94億5700万円になる。しかし終末処理場が確定していない。下水道事業から削除予定区域の合併処理浄化槽の維持管理は、一般会計からの助成を考えている。

問 中・長期の財政計画を策定して、今後の財政見直しをはっきりすべきでは。

答 平成22年度に策定したが、その後実績との乖離が大きくなれば策定したい。

問 下水道特別会計の起

答 確かに上昇しているが起債残高は減少しているし、危機的状況ではない。しかし今後も注視していきたい。

▼基金（貯金）・起債（借金）残高状況（平成25年度末見込み）

基金（合計25億8,949万円）

財政調整基金	4億8,065万円
公共施設整備基金	10億4,201万円
その他の一般会計基金	6億5,475万円
下水道特別会計基金	2億6,157万円
国民健康保険に係る基金	1億5,050万円

起債残高（合計85億1,192万円）

一般会計起債残高	59億6,913万円
下水道特別会計起債残高	25億4,279万円

問 べつじする！中心市街地

答 まずは、基礎調査から

久保山義明 議員



問 まちづくりにおける町長の理念とは何か。

答 町民の幸せのため、住みやすさを追求し、公平、公正に進める。

問 旧役場跡地を含む、最も容積率の高い、いわゆる商業地帯をどうしていくか。

答 まず、基礎調査を行う。再開発やマンション建設など検討段階でもない。

問 4年前にUR都市再生機構に調査依頼をしている。その後の動きは。

答 現在のところ、その後の活動はない。

ては、すぐどうこうというわけではない。

消防団員確保にむけて対策と要件緩和を

問 消防団員確保に向けた県補助金の使い道は。

問 特定地域再生制度の補助金を活用し、不動産業者や大手設計会社に委託するだけでなく、多様な主体性を持ったチームを組み、基礎調査をすべしと考えるが。

答 その制度については、検討していく。

問 かつて役場、郵便局、銀行、病院がひしめきあっていた、長崎街道という歴史ある空間に、医療、介護、福祉、子育て支援という特定課題解決のための整備をすべきと考えるが。

答 駅前立地という環境もふまえ、もう一度賑わいが必要だと思っている。遅れを取らないように、やっていきたい。ただ、役場跡地につい



▲旧役場跡地周辺の商業地域

答 昭和25年当時の条例のため、実態に沿った要件緩和に向けて検討していく。

問 県内において資格要件が20才以上は基山町だけ。大学生のボランティア意識醸成も含めた要件緩和を。

答 これをこうすれば解決するということではないため、まずはイメージアップに向けたパンフレット等の作成を考える。

問 基山保育園は築何年で、耐用年数は何年か。

答 昭和50年竣工で、38年経過、耐用年数は38年。

問 建てつけが悪い建具、雨漏り、内壁の塗装がはがれているなど、園の老朽化が進んでいる。古い水道管、床暖房の故障などもどう補修するのか。

答 その時々々の修繕で対応している。

問 いくつもの不都合な箇所がある。建て直すことは考えていないか。

答 「子ども・子育て支援事業計画」で定員の見直しも含めて検討する。

問 たんぼぼ保育園が建て替えられる。基山保育園も改修より建替える必要

問 基山保育園の建替えを

答 支援事業計画で検討する

大山 勝代 議員



問 基山保育園の問題点は何か。

答 3歳未満の幼児や気になる園児が増えている。少人数の園児に対して複数の保育士の確保が必要で、臨時雇の対応になる。

「子ども・子育て支援新制度」とはどういう制度か

問 来年4月施行予定の国の「新制度」とはどういう制度か。

答 ①幼児期の学校教育や保育を総合的に提供するための仕組みを作る。②都市部の待機児童の解消と子どもが減少している地域の子育てを支える。③地域の拠点を増や

し、多様な施設や支援を選べる。基準設定、認定手続き等を行う。

問 新制度により、基山町の保育行政が現行よりも低下することにならないか。

答 現在の基準をふまえて各種の基準設定が行われるので、保育の質の低下はないと考える。

問 補助金の使い方が多様になるに伴って、保護者の経済的負担が大きくなるのではないか。

答 負担額の設定は国の「子ども・子育て会議」で議論されている。現行の負担額を基本に平成26年の早い時期に公表される。



▲基山保育園年長組の子どもたち

問 土地開発公社は解散の時期では

答 公社と協議し検討している



林 博文 議員

どう考えているのか。

答 今回の検討委員会の報告では中央公園内が最も望ましい候補地とされ、町でも中央公園内が最適であると決定した。有効利用については、今後検討する。

問 基山町土地開発公社の設立時期、事業内容の目的は。

答 昭和48年に役場内に設置され、公共用地、公用地等の取得、造成、処分等を行い、基山町の秩序ある整備と振興に資することである。

問 平成11年に土地開発公社が図書館用地として先行取得した土地に図書館が建設されなかった理由は。今後の有効利用は

事業もめどが立ち、開発公社の役目はすんだと思う。解散してはどうか。

答 現在、開発公社と協議しながら検討している。

公共施設及び町有地の有効利用を図れ。

問 旧役場跡地、旧公民館跡地、歴史民俗資料図書館敷地、開発公社が保有する庁舎西側の土地等宅地分譲開発を推進して人口増対策に役立ててはどうか。

答 人口増対策また活性化のために、どのような活用が良いかも含めて検討しなければならぬと考えている。

か。

答 図書館用地からの変更は可能であるが、相当の公益性、または公益性を有する目的のために使用する必要がある。変更範囲は法律第9条に規定されている。

問 総合公園整備



▲公社が先行取得し保有している図書館用地

問 就学援助から外すな

答 生活状況をふまえ支給



松石 信男 議員

ら除外される児童・生徒があつてはならない。どうするのか。

問 安倍政権は平成25年度から3年かけて生活保護費を6・5%削減するが、減額された世帯平均額はいくらか。

答 4名家族（夫婦子ども2人）で月2447円が引下がる。

問 生活保護基準の引下げに伴って、小・中学生の中で、経済状況が厳しい家庭に学用品費や給食費などを補助する就学援助から外される恐れがあるがどうか。

答 除外されるのは平成26年度が2世帯3名、平成27年度で1世帯2名になる。

問 一人でも就学援助が

問 減免制度が知られていない。周知が必要だ。就学援助を受けている家庭の子どもが学童保育に入所できない実態がある。希望する子どもが安心して入所できるように利用料の減免を提案する。例えば就学援助世帯は半額免除・2人以上同時入所で2人目は半額免除、3人目以降は全額免除とするなどは。

答 基山町の就学援助の支給は生活保護費の1.2倍としているが、収入と生活状況をふまえやっ

答 十分検討する。

問 就学援助世帯等の学童保育利用料の減免を。

答 十分検討する。

問 利用料は月曜から土曜日まで預けると1か月当たり3200円、延長を含めれば4400円となっている。経済的に厳しい家庭からこの利用料をなんとかして欲しいとの声がある。減免はどうなっているのか。

答 申請により生活保護世帯は減免しているが、就学援助世帯では減免されていない。

要望 保育料は所得に応じて15段階に設定されているのに、学童保育の場合一律に負担しなければならないのは問題だ。軽減している自治体もあるので、検討を求める。



▲学童保育 ひまわり教室

問 駅バリアフリーの早期完成を 答 意向も組み努力する

河野 保久 議員



問 白坂久保田2号線の開通に伴う団地内の安全についての基本的考えは。

答 住民が安全で安心して暮らせることが行政の基本であり、説明会等で意見・要望を聞きたい。

問 周辺環境整備をどのように進めるのか。

答 三国丸林線の道路改良については住民の要望が多いので、白坂久保田2号線の完了後を計画している。

問 けやき台駅バリアフリー化までの工程と完成時期は。

答 平成26年度に計画案を作成。提出してから3年はかかると考えている。

答 平成25年度は現在のところ18回開催の392人の参加となっている。

問 徘徊高齢者へのGPSの実費補助の検討は。

答 平成26年度に先進地の取組状況等を参考に具体的に検討する。

問 SOSネットワークの模擬訓練の実施は。

答 平成26年度には何らかの具体的な取組みをしたいと考えている。

要望 当事者にとっては待ったなしの状況であることを認識し、早急な対応を要望する。



▲けやき台駅周辺のバリアフリー化の早期完成を

住民も議会だよりに参加

広報編集委員会

さる2月12・13日長崎県壱岐市議会の広報編集視察研修を行った。

平成16年郷の浦、勝本、苜辺、石田4町の合併で、人口28,992人(平成26年1月)

編集の基本方針

- ◆住民が議会を身近に感じられる。
- ・住民も写真・コメントで議会だよりに参加。
- ・表紙は子どもを主役。
- ◆小学4年生が理解できる内容にする。
- ・専門用語をなるべく使わない。
- ・住民の質疑事項等を前面にだす。
- と、編集方針が明確に書かれている。

議会だよりクイズと市民の声

基山町も「傍聴記」で町民の方に議会への参加をいただいているが、壱岐市では多くの市民の参加が紙面でわかる。シリーズで「市議会だよりクイズ」を出し、市民にハガキで応募してもらい、正解者の中から数名に1000円の図書カードが進呈される。

応募の際、議会だよりを読んでの感想・市政への意見要望など書く欄がある。それが「市民の声」のページで紹介

介されている。

マスコットキャラクター

ミルちゃん(見る)、キクちゃん(聞く)、ユウちゃん(言う)という親しみのある3人の子どもが随所に登場して、紙面の工夫がされている。

広報編集委員会はこの数年先進的な議会広報を発行している市町へ視察研修をしてきた。これらを参考にし、今後とも基山の議会だよりの改善をしていきたい。



▲ケーブルテレビの取材を受けた壱岐市の視察

高機能消防指令センター稼働

鳥栖・三養基地区消防事務組合

平成26年度予算 16億1,537万円（前年比△2億4,677万円、13.2%減）

主な歳入

- 各市町負担金（基山町負担金2億1,192万円）
- 高機能消防指令センター整備事業の国庫支出金
- 消防施設等整備基金からの繰入金

主な歳出

- 総務費（人件費等経常的な経費）
- 消防費（高機能消防指令システム整備事業、車両整備等）

問 各消防団に出火点指示メールの配信が可能となるが、運用開始時期、個人情報保護、退団者管理、消火栓位置についてどのように考えているか。

答 運用は7月1日からとなるが3月中旬以降に試験運用を開始したい。地図リンクには個人情報も含まれるため、部長以上への配信となる。退団者管理は各自自治体担当にお願いしたい。消火栓の位置は技術的には可能と思うので前向きに検討したい。

第5期介護保険事業計画

鳥栖地区広域市町村圏組合

介護保険法の規定に基づき、介護サービスの供給量、介護保険料の設定並びに高齢者施策の推進など、本圏域における介護保険事業を運営しており、基山町からは2名が組合議員となっている。

平成26年度一般会計予算	313万円	前年度より12万円増
平成26年度介護保険特別会計	84億4,618万円	前年度より1億9,552万円増

*平成26年度予算の（歳出）地域支援事業費は、前年度より540万円増となっている。

問 地域支援事業費総額2億4,403万円で、組合実施事業費の増加の主なものは何か。

答 新規事業として以下のとおり。

- ボランティア・ポイント事業委託料 71万円
- 高齢者虐待対応事業委託料 73万円
- 地域ケア会議推進事業 106万円
- 認知症支援ガイドブック 107万円

9年間の長期委託契約に

筑紫野・小郡・基山清掃施設（クリーンヒル宝満）組合

「クリーンヒル宝満」は筑紫野市・小郡市・基山町で運営し、議員構成は、筑紫野市議会から4名、小郡市議会から3名、基山町議会から3名の合計10名。

平成26年度一般会計予算 21億1,566万円

主な歳入

- 分担金 18億8,137万円（基山町の分担金は2億4,298万円）

主な歳出

- 熱回収施設（ごみ焼却処理場）運転業務委託 8億4,033万円
- リサイクル施設運転業務委託料 2億 264万円

問 平成26年度から9年間の運転業務委託になるがメリットは何か。

答 長期的な契約で補修が計画的に行われ、予算の平準化が図られる。

意見書等の結果

基山町の公益に関する事柄について国会や関係行政庁に対して議会の議決に基づき意見書を提出することができます。詳しくは議会事務局にお尋ねください。

区分	件名	内容	提出者	結果
陳情	要支援者への予防給付を市町村事業とすることについての意見書提出に関する要望書	介護保険制度の「介護保険からの要支援外し」と「一定以上の所得のある人の利用料を2割に引き上げる」との政府提案を取り下げを求める。	公益社団法人 認知症の人と家族の会 佐賀県支部 代表世話人 森 久美子	全議員 に配布
	玄海原発の拙速な再稼働に反対し、原子力防災の充実を求める陳情について	拙速な玄海原発再稼働に反対するとともに、実効性ある原子力防災計画の充実を求める。	佐賀県平和運動センター 議長 原口 郁哉 外3名	全議員 に配布
	これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書	勤労青年教育を推進していく上で、勤労青年たちの学習と活動を公的に支援する体制と充実を求める。	日本青年団協議会 会長 立道 斉	全議員 に配布

議長交際費の公表 (平成26年1月～3月)

支出種別	支出金額(円)	支出の相手方及び行事名等	
会費	24,000	平成25年度基山経済クラブ年会費	
接遇	3,000	1/23 図書館等建設特別委員会視察研修土産	
御祝	4,085	1/9 やよいが丘温泉「山楽」落成式	
接遇	3,000	2/12～13 広報編集委員会視察研修土産	
御祝	5,000	3/15 JAさが基山支所女性部総会	
合計件数	合計額(円)	累計件数	累計額(円)
5	39,085	11	77,025

平成26年 6月基山町議会定例会会期日程(案)

月	日	曜	議事内容	備 考
6	9	月	本会議	会期決定・提案理由説明等
	10	火	本会議	一般質問
	11	水	本会議	一般質問
	12	木	本会議	一般質問、議案審議、委員会付託
	13	金	委員会	各常任委員会
	14	土	休会	
	15	日	休会	
	16	月	委員会	各常任委員会 (調整)
	17	火	本会議	委員長報告、討論・採決

きやまん議会と語ろう！

第2回 議会報告会

平成26年5月30日(金)
19:00 ~ 20:45

「たくさんの方のご参加をお待ちしてま～す！」

申し込み不要！



より身近な意見交換をしていただくため
2会場で同時開催！

A会場

福祉交流館

「きやまんふれあいセンター」

1階 会議室

(基山小校区在住の方)

〔内容〕

- 3月議会の報告と質疑
- 町の重要課題についての意見交換
(第5次総合計画、図書館等建設、
コミュニティバス、道路行政、
ごみ収集、各地区の問題など)

B会場

町民会館

1階 会議室

(若基小校区在住の方)

編集後記

みんなが主役

「あんな雨の中、祭りをしたの？」と驚かれた7区さくら祭り。中止か？開催か？の判断も関係者が集まって協議してみんなで決定し、小雨の中、開催した。



▲みんなで踊る7区さくら祭り

基山町は各区で多彩な祭りやレクリエーションに取組まれている。地域の絆はお互いが関わることで生まれ、まちづくりに寄与する。基山町は住み良かねえと笑顔で語るまちを目指し、編集委員の私達もがまだしていきたい。
(重松)

広報編集委員会

委員長	大山 勝代	委員	木村 照夫
副委員長	牧園 綾子	委員	久保山 義明
委員	重松 一徳	委員	神前 輔行